

# 松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【令和6年4月】

■調査概要（データ対象期間：令和6年4月1日～4月30日）

○調査期間：令和6年4月30日～令和6年5月22日

○調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査

○回収状況：建設業19企業、製造業17企業、卸売業13企業、小売業15企業

飲食業13企業、サービス業34企業（運輸、不動産仲介業を含む）

<合計111企業>

○調査項目：4月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価

状況向こう3ヵ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI(Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準と

して、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下

向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示す

ものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

# 概況

業況DIはマイナス幅が縮小し、水準DIはマイナス幅が拡大した

## 1. 業況判断

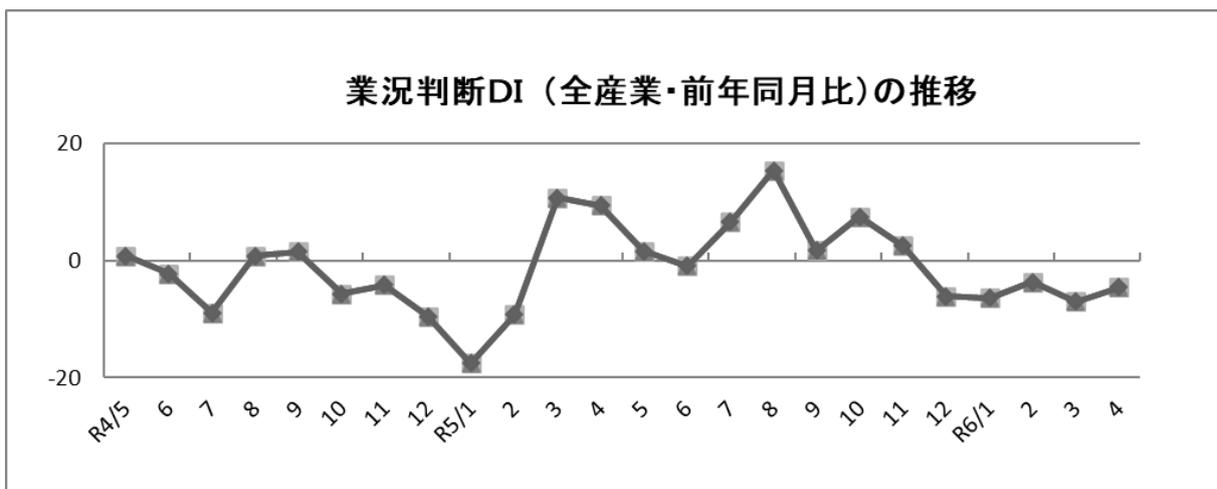
- 全産業合計の業況DI(前年同月比ベース)は、前月(▲7.0)より2.5ポイント上昇し、▲4.5となった。業種別では、サービス業はプラス幅が拡大し、小売業はプラスから0となった。飲食業は0からプラスになり、製造業はマイナス幅が縮小した。建設業・卸売業はマイナス幅が拡大した。
- 全産業合計の水準DIは、前月(▲5.2)より7.4ポイント下降し、▲12.6になった。業種別では、小売業はプラスから0になり、サービス業は0からマイナスに転じた。製造業・飲食業はマイナス幅が縮小し、建設業・卸売業はマイナス幅が拡大した。

業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	18.0 (19.1)	59.5 (54.8)	22.5 (26.1)	▲ 4.5 (▲ 7.0) ↗	14.4 (22.6)	58.6 (49.6)	27.0 (27.8)	▲ 12.6 (▲ 5.2) ↘
建設業	5.3 (5.6)	68.4 (72.2)	26.3 (22.2)	▲ 21.0 (▲ 16.6) ↘	5.3 (11.1)	63.1 (61.1)	31.6 (27.8)	▲ 26.3 (▲ 16.7) ↘
製造業	11.8 (10.5)	58.8 (31.6)	29.4 (57.9)	▲ 17.6 (▲ 47.4) ↗	17.6 (21.1)	58.9 (36.8)	23.5 (42.1)	▲ 5.9 (▲ 21.0) ↗
卸売業	7.7 (23.1)	61.5 (46.1)	30.8 (30.8)	▲ 23.1 (▲ 7.7) ↘	7.7 (30.8)	46.1 (30.7)	46.2 (38.5)	▲ 38.5 (▲ 7.7) ↘
小売業	20.0 (33.3)	60.0 (47.7)	20.0 (19.0)	0.0 (14.3) ↘	20.0 (33.3)	60.0 (52.4)	20.0 (14.3)	0.0 (19.0) ↘
飲食業	30.8 (25.0)	46.1 (50.0)	23.1 (25.0)	7.7 (0.0) ↗	23.1 (25.0)	46.1 (33.3)	30.8 (41.7)	▲ 7.7 (▲ 16.7) ↗
サービス業	26.5 (18.8)	58.8 (68.7)	14.7 (12.5)	11.8 (6.3) ↗	14.7 (18.8)	64.7 (62.4)	20.6 (18.8)	▲ 5.9 (0.0) ↘

( )内は前月データ

※「業況[前年同月比]」…前年同月の業況との比較による回答の集計  
「今月の水準」…事業主の方の主観による回答の集計

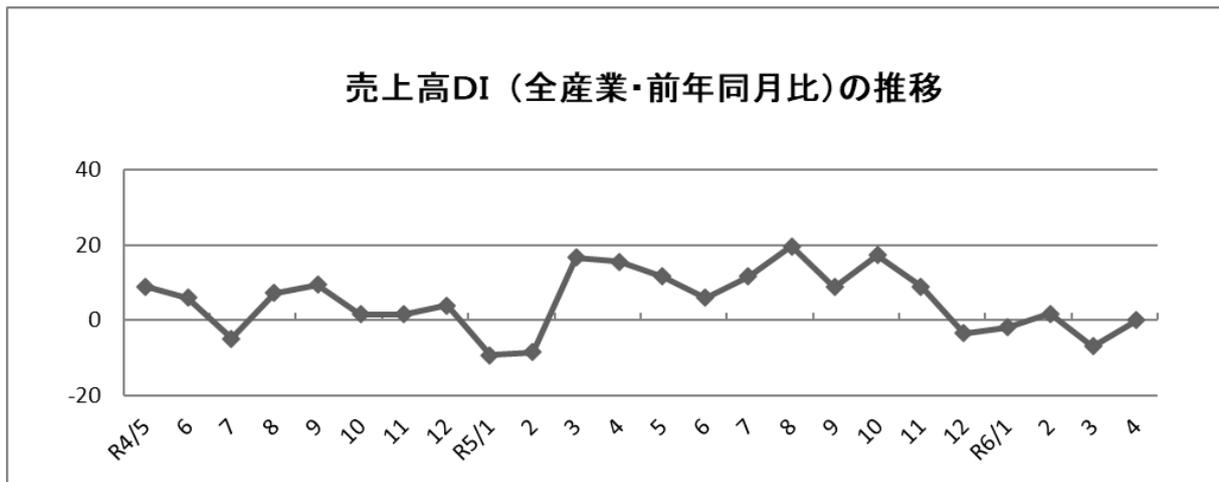


## 2. 売上高DI（前年同月比）

○全産業合計の売上高DIは、前月（▲6.9）より6.9ポイント上昇して、0となった。  
業種別に見ると、サービス業はプラス幅が拡大し、小売業はプラス幅が縮小した。飲食業はマイナスから0となり、製造業・建設業はマイナス幅が縮小した。卸売業はマイナス幅が拡大した。

【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	R5年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月
全 体	15.5	11.7	6.0	11.6	19.7	8.8	17.3	9.0	▲ 3.5	▲ 1.8	1.8	▲ 6.9	0.0
建 設 業	▲ 29.4	▲ 31.5	0.0	▲ 23.5	▲ 27.7	▲ 17.6	▲ 5.9	0.0	▲ 5.3	▲ 11.7	▲ 13.3	▲ 22.2	▲ 21.0
製 造 業	30.0	5.5	26.3	15.7	5.5	6.7	11.1	5.9	▲ 23.5	11.8	6.2	▲ 31.5	▲ 5.9
卸 売 業	▲ 12.5	0.0	12.5	8.3	9.1	▲ 8.3	▲ 9.1	0.0	21.5	▲ 15.4	0.0	▲ 7.7	▲ 15.4
小 売 業	4.8	30.4	▲ 4.5	8.3	40.0	▲ 15.0	14.3	▲ 16.7	10.6	0.0	9.1	19.1	6.6
飲 食 業	25.0	53.8	16.7	53.8	64.3	64.3	64.3	50.0	0.0	7.7	0.0	▲ 33.3	0.0
サービス業	36.9	13.5	0.0	13.9	25.0	19.4	22.5	20.0	▲ 12.1	▲ 3.1	3.0	9.4	17.7

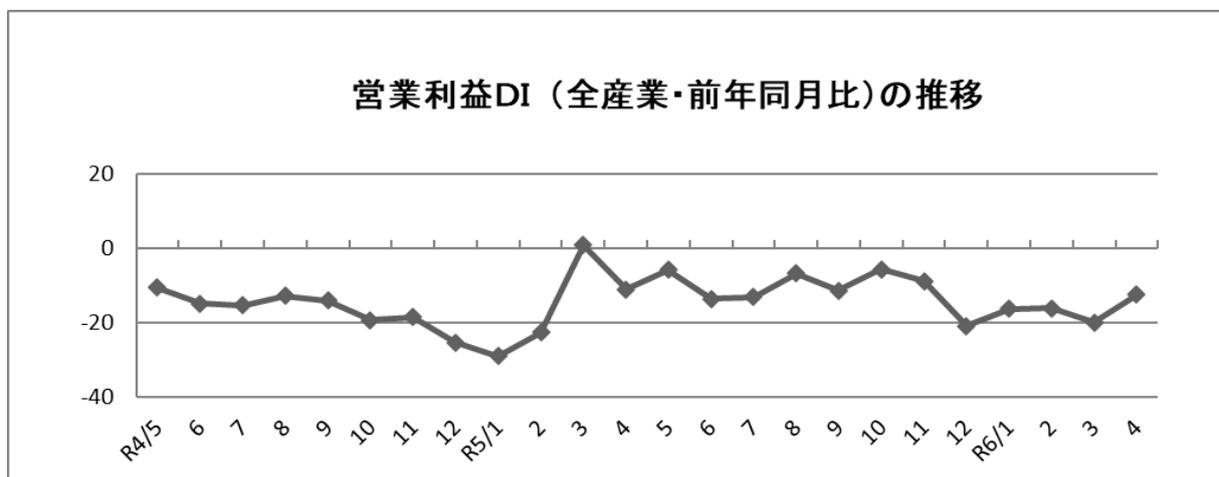


## 3. 営業利益DI（前年同月比）

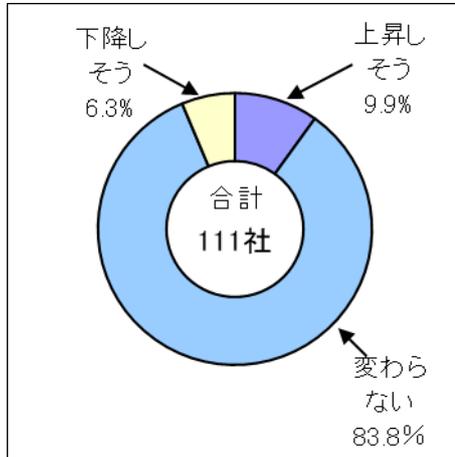
○全産業合計の営業利益DIは、前月（▲20.0）より7.4ポイント上昇して、▲12.6となった。  
サービス業はプラスからマイナスへ転じ、小売業はマイナスからプラス転じた。飲食業・製造業・建設業はマイナス幅が縮小した。卸売業は横ばいであった。

【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

	R5年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月
全 体	▲ 11.2	▲ 5.9	▲ 13.6	▲ 13.2	▲ 6.8	▲ 11.4	▲ 5.8	▲ 8.9	▲ 20.9	▲ 16.4	▲ 16.2	▲ 20.0	▲ 12.6
建 設 業	▲ 35.3	▲ 36.8	▲ 20.0	▲ 29.4	▲ 38.8	▲ 29.4	▲ 17.6	▲ 5.0	▲ 15.8	▲ 23.5	▲ 13.3	▲ 22.2	▲ 21.0
製 造 業	▲ 10.0	▲ 16.7	▲ 15.8	▲ 26.3	▲ 33.4	▲ 13.3	▲ 27.7	▲ 29.5	▲ 35.3	▲ 5.9	▲ 25.0	▲ 57.9	▲ 35.3
卸 売 業	▲ 25.0	▲ 40.0	0.0	0.0	▲ 18.2	▲ 16.7	▲ 27.2	▲ 25.0	▲ 7.1	▲ 23.1	▲ 23.1	▲ 7.7	▲ 7.7
小 売 業	▲ 23.8	26.1	▲ 18.2	▲ 12.5	5.0	▲ 30.0	▲ 14.3	▲ 22.2	▲ 15.8	▲ 22.2	▲ 18.2	▲ 19.0	6.7
飲 食 業	▲ 16.7	0.0	▲ 16.6	▲ 7.7	28.6	0.0	14.3	▲ 10.0	▲ 53.8	▲ 15.4	▲ 16.7	▲ 41.6	▲ 15.4
サービス業	10.5	2.7	▲ 8.1	▲ 5.6	5.5	5.5	12.5	11.4	▲ 12.1	▲ 12.5	▲ 9.1	6.3	▲ 5.9



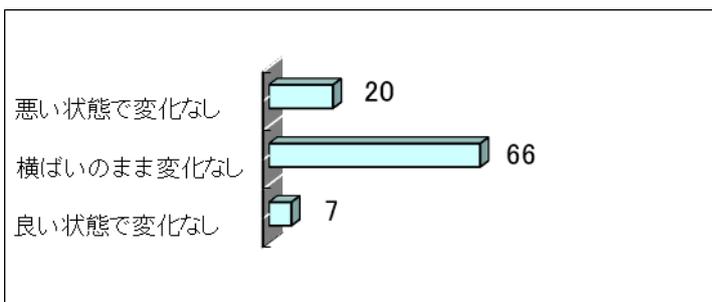
◇ 向こう3カ月の見通し ◇



○令和6年5月～7月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ1.4ポイント減り9.9%、「下降しそう」が3.3ポイント減り6.3%となった。業種別の見通しDIは建設業(0.0)、製造業(0.0)、卸売業(15.4)、小売業(0.0)、飲食業(7.7)、サービス業(3.0)であった。

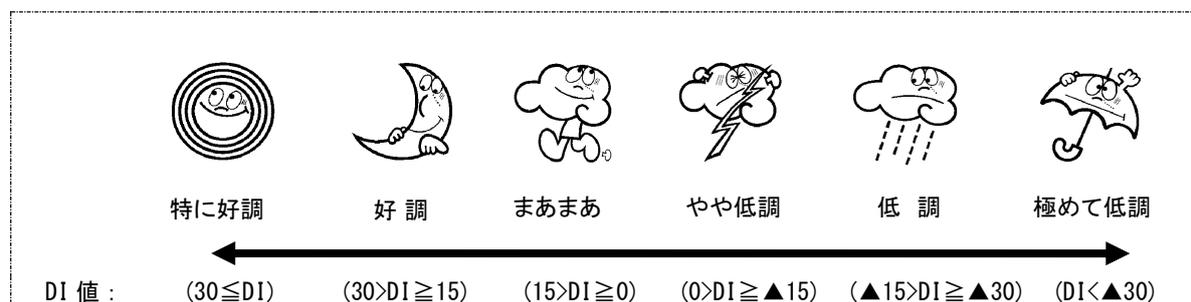
➡「上昇しそう」では「新年度工事が発注されるため」(建設業)「防衛関連の動きが引き続き活発な見込みのため」「客先生産計画からの見込みで上昇しそうのため」(製造業)「春の観光やゴールデンウィークで人の動きが期待できるため」「観光需要の増加のため」「暖かくなり外出が増えるため」(卸売業)「来店客の90%が外国の方で今後も期待できるため」(小売業)「客数が増える予想のため」「夏に向けて予約問い合わせが多いため」(飲食業)「予約が好調のため」(サービス業)といった声が寄せられた。

➡「下降しそう」では「受注がないため」(建設業)「ゴールデンウィーク明けは例年低調な時期となるため」「4月が良過ぎたため」(製造業)「受注がこれからであるため」(サービス業)「来店する客の層に変化を感じ地元客も割合がかなり減ってきているため」(飲食業)といった声が寄せられた。

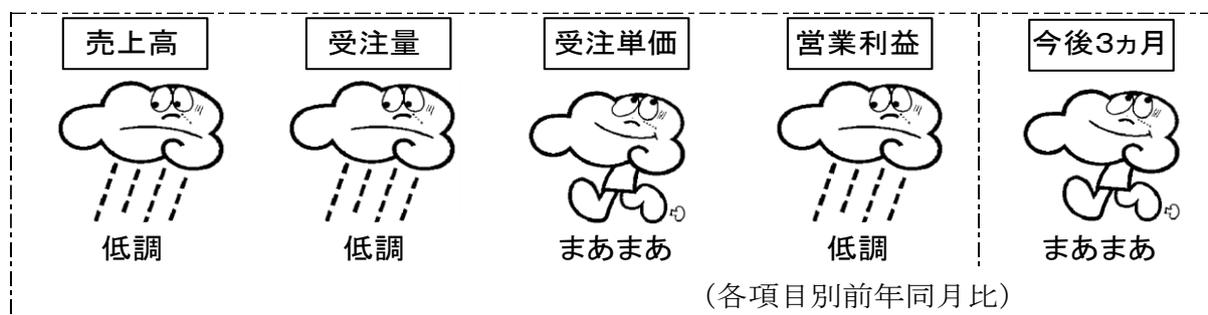


# 業種別景況

## <DI | 君の景況判断>



## 1. 建設業



【項目別DIの推移】

	R5年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月
売上高	▲ 29.4	▲ 31.5	0.0	▲ 23.5	▲ 27.7	▲ 17.6	▲ 5.9	0.0	▲ 5.3	▲ 11.7	▲ 13.3	▲ 22.2	▲ 21.0
受注量	▲ 23.5	▲ 21.1	▲ 15.0	▲ 35.3	▲ 16.7	▲ 11.7	▲ 5.8	▲ 5.0	▲ 5.2	▲ 11.7	▲ 26.6	▲ 16.6	▲ 21.1
受注単価	0.0	▲ 10.5	0.0	▲ 5.9	5.6	5.9	5.9	5.0	5.3	5.9	0.0	0.0	0.0
営業利益	▲ 35.3	▲ 36.8	▲ 20.0	▲ 29.4	▲ 38.8	▲ 29.4	▲ 17.6	▲ 5.0	▲ 15.8	▲ 23.5	▲ 13.3	▲ 22.2	▲ 21.0
見通し	5.9	5.3	5.0	5.9	5.5	5.9	0.0	0.0	▲ 10.5	▲ 5.9	▲ 13.3	▲ 11.1	0.0

## <経営者の目・見方・e t c >

土木工事

- ・公正取引委員会が発表した、11月から手形の決済期限を120日から60日に短縮されることから、下請業者や資材納入業者は資金繰りが改善される。
- ・円安物価高で、大企業と中小零細企業の間で二極化が進んでいる。給料が増えない大多数の一般庶民のためには消費税減税が最も有効な景気対策だと思う。

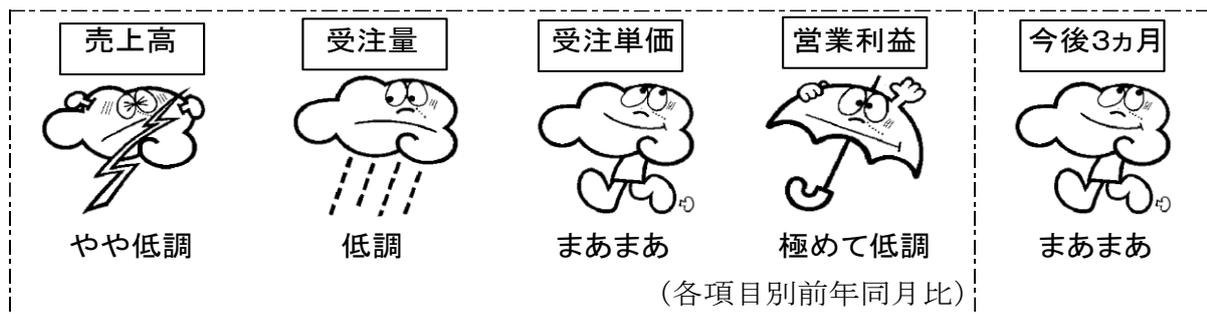
電気工事

- ・電線類の値上げや、太物電線を注文しても間に合わないことが気になる。

鉄工

- ・鋼材等の値動きは高止まり状態で、今後一段の値上げが予想される。エネルギー価格高騰、賃上げなど経費の増大により厳しい経営環境となっている。日本全体の仕事量も減少傾向にあり、受注価格の下落も考えられる。

## 2. 製造業



【項目別DIの推移】

	R5年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月
売上高	30.0	5.5	26.3	15.7	5.5	6.7	11.1	5.9	▲23.5	11.8	6.2	▲31.5	▲5.9
受注量	5.0	5.6	5.3	▲5.3	5.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲31.6	▲23.5
受注単価	25.0	16.6	21.0	26.3	16.7	▲6.7	16.7	0.0	0.0	23.5	12.5	▲10.5	11.7
営業利益	▲10.0	▲16.7	▲15.8	▲26.3	▲33.4	▲13.3	▲27.7	▲29.5	▲35.3	▲5.9	▲25.0	▲57.9	▲35.3
見通し	▲15.0	5.5	▲15.8	▲5.2	16.6	0.0	16.6	▲5.8	▲17.6	23.5	6.3	0.0	0.0

### <経営者の目・見方・etc>

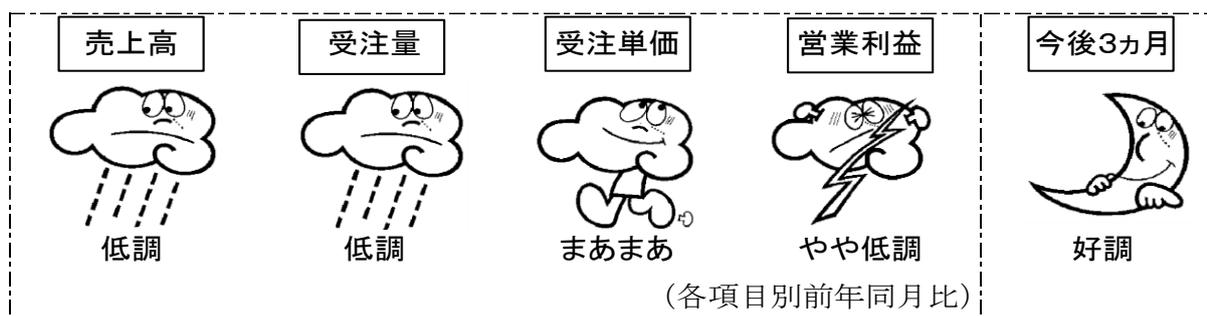
印刷

・価格転嫁を受け入れてもらえない、さらには事業承継やM&Aが不調に終わった印刷業の廃業が続いており、そのしわ寄せとも言うべき仕事の問い合わせが来ている。仕事そのものの受注があること自体は有り難いことではあるが、仕事だけではなく人材も流れて来てほしいところである。特に専門職種であるオフセット印刷機オペレーターと営業職は難航している。

小型情報機器組立  
金属塗装

・業界全体に在庫を抱えているため仕事量が少ない。  
・円安で輸入物価が高く採算を悪くしている。

## 3. 卸売業



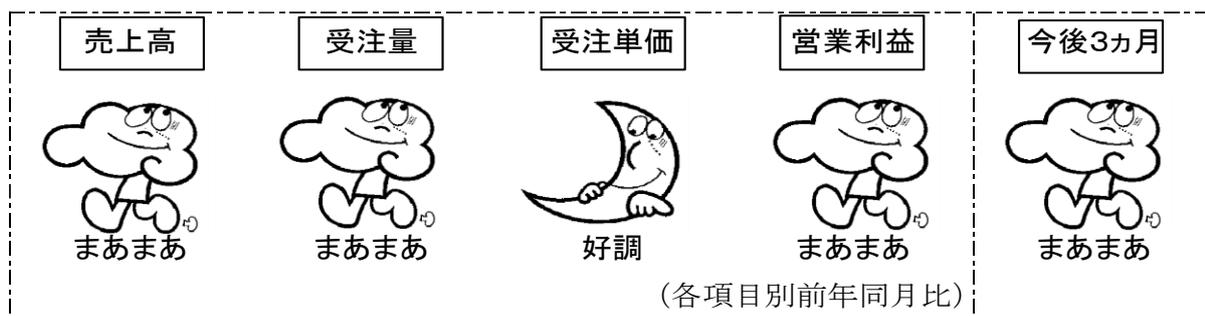
【項目別DIの推移】

	R5年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月
売上高	▲12.5	0.0	12.5	8.3	9.1	▲8.3	▲9.1	0.0	21.5	▲15.4	0.0	▲7.7	▲15.4
販売客数	▲25.0	▲10.0	12.5	▲8.4	▲18.2	▲25.0	▲27.3	▲16.7	▲7.1	▲7.7	▲7.7	0.0	▲15.4
販売客単価	0.0	10.0	12.5	25.0	27.3	8.3	18.2	0.0	14.3	▲7.7	0.0	0.0	0.0
営業利益	▲25.0	▲40.0	0.0	0.0	▲18.2	▲16.7	▲27.2	▲25.0	▲7.1	▲23.1	▲23.1	▲7.7	▲7.7
見通し	12.5	▲10.0	0.0	0.0	▲9.1	▲33.3	▲18.2	0.0	▲7.2	▲23.1	0.0	▲7.7	15.4

<経営者の目・見方・e t c>

- 魚介類
  - ・飲食店のランチは好調のようだが、夜の営業実態がコロナ禍前に戻っていない。原因の調査を希望。
- 青果卸小売業
  - ・野菜の高騰に振り回され利幅がなかった。
- 自転車
  - ・円高になり仕入の価格改定の話が出始めている。
- 土産品
  - ・上高地他夏山がオープンし賑わっている。ゴールデンウィークに期待している。
- 金属製品
  - ・高炉メーカーの値上げも徐々に具体化してきて、各流通は値上げ交渉時期となっている。物流費などの経費分をメーカーの値上げ分以上に転嫁できるかが課題である。
- 製菓材料卸売
  - ・食品原材料の値上げが止まらない。消費意欲は低い気がする。
- 木材・建材
  - ・2025年4月からはすべての企業に「65歳への定年引上げ」「定年廃止」「65歳までの継続雇用制度」のいずれかが義務化となるが、各企業の対応が気になる。

## 4. 小売業



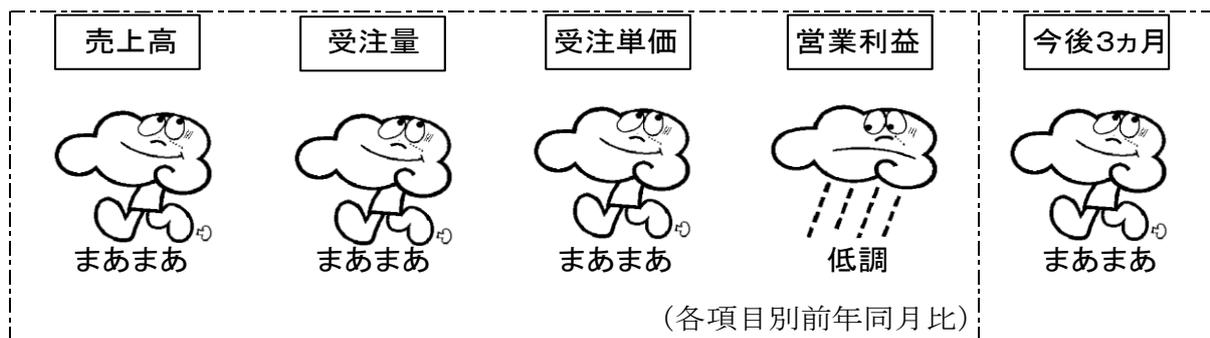
【項目別DIの推移】

	R5年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月
売上高	4.8	30.4	▲ 4.5	8.3	40.0	▲ 15.0	14.3	▲ 16.7	10.6	0.0	9.1	19.1	6.6
販売客数	▲ 9.5	17.4	▲ 9.1	4.1	20.0	▲ 20.0	9.6	▲ 5.6	0.0	5.5	9.1	0.0	0.0
販売客単価	▲ 19.1	26.1	9.1	25.0	15.0	▲ 10.0	▲ 14.3	▲ 5.6	0.0	▲ 5.6	9.1	19.1	20.0
営業利益	▲ 23.8	26.1	▲ 18.2	▲ 12.5	5.0	▲ 30.0	▲ 14.3	▲ 22.2	▲ 15.8	▲ 22.2	▲ 18.2	▲ 19.0	6.7
見通し	▲ 4.8	0.0	13.7	8.3	0.0	0.0	▲ 19.0	▲ 5.6	▲ 21.1	0.0	18.2	0.0	0.0

<経営者の目・見方・e t c>

- 洋菓子店
  - ・組合店で今年2社が清算、1店が廃業、1社が倒産した。
  - ・値上げしている分売上は上がっているが、客数はさほど増えていない。
- 印章
  - ・月初めの花見客から大型連休を含め、週末は観光の方が街中を大勢歩いていた。松本パルコと井上百貨店の閉店で中心市街地の商業がかなり危機的状況になっていることを思い知らされる。
- 印章・刃物研ぎ
  - ・円安のせいか外国人観光客の増加が見込まれ、同時に土産品に期待がもてそう。
- 生鮮食品
  - ・入学式があつたり、観光客が多く来ているようだが、静かに過ぎたような気がする。

## 5. 飲食業



【項目別DIの推移】

	R5年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月
売上高	25.0	53.8	16.7	53.8	64.3	64.3	64.3	50.0	0.0	7.7	0.0	▲33.3	0.0
販売客数	25.0	38.4	25.0	23.1	57.2	57.2	50.0	20.0	15.4	7.7	8.4	▲25.0	0.0
販売客単価	0.0	▲7.7	▲16.7	23.1	28.6	7.1	28.6	10.0	7.7	0.0	0.0	25.0	7.7
営業利益	▲16.7	0.0	▲16.6	▲7.7	28.6	0.0	14.3	▲10.0	▲53.8	▲15.4	▲16.7	▲41.6	▲15.4
見通し	25.0	23.1	25.0	0.0	7.2	7.2	14.3	0.0	▲7.7	7.7	33.3	16.7	7.7

### <経営者の目・見方・etc>

郷土料理

食堂

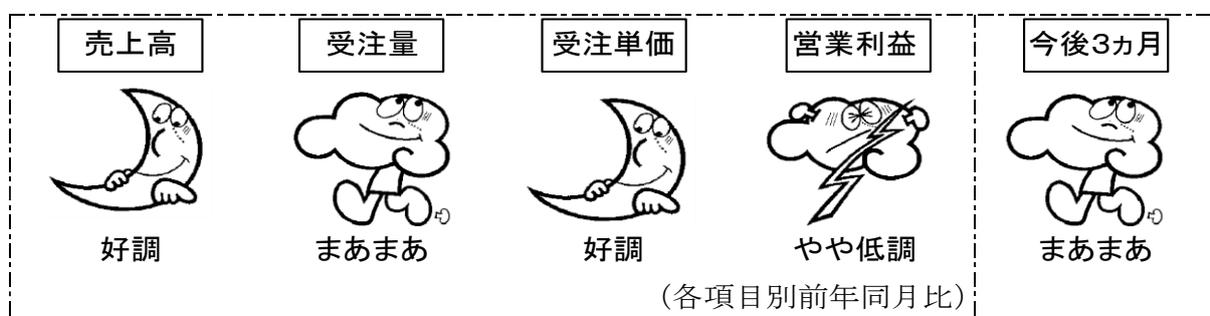
寿司

中華料理

居酒屋

- ・観光客が増えた。宴会、会合は少ない。外国人客が増えている。
- ・4月に入り入社、入学式、花見シーズンと続き人出を期待したが、予約数も少なく5月の連休に期待したい。
- ・気候も良くなり本格的な行楽シーズンが始まった。桜の花が咲く頃は入園入学進学とお祝い事で大忙しだった。土曜日・日曜日に集中してしまうので、せっかく来店してくれてもやむを得ずお断りするお客様には大変申し訳なく思う。
- ・4月は桜まつりや歓送迎会、前半のゴールデンウィークとイベントが盛りだくさんで、賑わいがあり店も大いに盛り上がった。井上の閉店報道は驚きとショックを隠し切れない程のインパクトがあるニュースだった。
- ・毎回調査内容が古すぎて参考にならない。興味を持って読んでいるが、確かにそうだったなと思う程度であり役に立っていない。以前に比べて状況の変化が激しいのかもしれない。

## 6. サービス業



【項目別DIの推移】

	R5年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月
売上高	36.9	13.5	0.0	13.9	25.0	19.4	22.5	20.0	▲ 12.1	▲ 3.1	3.0	9.4	17.7
販売客数	28.9	8.1	0.0	11.1	8.3	11.1	12.5	8.6	▲ 18.1	▲ 3.2	9.1	12.5	14.7
販売客単価	23.7	10.8	5.4	11.1	19.4	19.4	27.5	11.4	▲ 3.1	0.0	6.0	18.8	17.6
営業利益	10.5	2.7	▲ 8.1	▲ 5.6	5.5	5.5	12.5	11.4	▲ 12.1	▲ 12.5	▲ 9.1	6.3	▲ 5.9
見通し	15.8	10.8	24.3	13.8	13.9	8.3	2.5	0.0	▲ 6.1	▲ 6.3	9.1	9.3	3.0

<経営者の目・見方・e t c >

- 温泉旅館
  - ・人手不足が深刻である。予約があるにもかかわらず部屋を制限せざるを得ない。
  - ・ビジネスも観光も入込が最多である。予約も好調であるが、残念なことはタクシーの予約が難しい。レンタカーの予約も難しいとのお客様より耳にする。
- 観光旅館
  - ・今年も昨年に続き残雪が少なかったが、相変わらず東南アジアからの観光バスによる日帰り客がコロナ禍前よりも多く、宿泊もそれなりに増えた。ただ、秋の水不足が早くも心配になっている。従業員の確保は、募集手段をSNSなどに変更したため、比較的安定して集まった。
- 旅館
  - ・インバウンドも増えてきているが、特定の地域に集中気味である。
- ホテル
  - ・1月から3月の宿泊は落ち着いていたが、4月になって急に予約が多く入った。インバウンドも伸びている。
- ソフトウェア
  - ・小規模なものを含め、システムの再構築に取り組んでいる。外部サービスを利用するのも手だが、恒常的に費用が発生するので、体力勝負の部分もある。中途半端な技術力だけではユーザーに関わる支援業務は難しい。
- ホームクリーニング・リネンサプライ業
  - ・ホームクリーニングにおいて4月上旬は多忙を極めた。リネンサプライでは相変わらずインバウンドが好調で売上を伸ばした。
- タクシー
  - ・運賃の値上げが許可されたのと、上高地方面の道路が運行できるようになったので売上が多少上がった。
- 機械設計
  - ・今年度のテーマ受注が遅れている。やっと5月になって決まる。円安で材料費が上がる。

